

千葉明德短期大学 育ちあいのひろば

たいむ

3月号 [H27.2.27 発行]

先日、入り口を入ったところにある掲示板に折り紙で作成したお雛様を飾りました。それに気づいたＹちゃんが「作りたい!」と言い、一緒にいたＮちゃんも作ってみることにしました。Ｎちゃんはお雛様を作る少し前まで妹とスタッフと一緒に折り紙で遊んでいたのですが“折る”というより“ちぎる”ということを楽しんでいました。しかし、年上のＹちゃんがスタッフに教わりながら折っている姿を見ると、Ｎちゃんも真剣に折っていました。ここは難しいかな…というところもできたので、スタッフもビックリ!

Ｎちゃんのお母さんも「たいむに来るとお姉ちゃんたちの真似をしていろいろなことができるようになっていく!」と驚いていました。「帰ったらお家に飾るー!!」と言いながら完成したお雛様を持って、ニコニコで写真を撮りました。(の)



■ということで…ひなまつり写真撮影大会■

3月3日(火)はひなまつりですね。当日は手作りのお内裏様とお雛様に顔を入れて写真が撮影できる大きなボードを設置します。また、来室した際にはひなあられをおみやげに用意しますのでお時間のある方はぜひ、いらしてください。

■今年も「1年間お疲れ様会」をやります!!■

《日 時》3月12日(木) 11:00~

《場 所》たいむ

《参加費》500円(1家庭)※参加される方は3月6日(金)までに受付にある名簿に記入してください。

当日はみんなでビンゴ大会をしたり、1年間の思い出をスライドショーで振り返ったりします。「子どもたち成長したねー」「子育て頑張ったねー」を実感しましょう。

■あみぐるみ講座 ～あみぐるみ作りませんか？■

図書館にあるこのあみぐるみをご存知ですか？このあみぐるみは図書館高森さんの手作りです。高森さんにかぎ針の基本を教わりながら、このあみぐるみ作りに挑戦しませんか？小さい子がいるから作るのはちょっと厳しいな…と思う方も大丈夫ですよ！時間内ならスタッフが一緒にお子さんと過ごしますので、集中して作ってください。お子さんが幼稚園に行っている方もその時間にお母さんだけでたいむにいらしても大丈夫です。材料は各自で用意していただくこととなりますが、ぜひこの機会にみなさんで初めてみませんか？



＜日 時＞3月3日(火)、10日(火) 10:00～12:00

＜持ち物＞・毛糸 白1玉、好きな色1玉(ネコに挑戦したい方は2玉くらい)・毛糸にあった号数のかぎ針1本・毛糸用とじ針

***いままで全く編み物をしたことがない方や、買う場所がわからない方は、スタッフにご相談ください。**

★高森さんより毛糸選びのポイント★

- ・手触りのいい毛糸を選んでください。アクリルよりも毛100%がおすすめです。
- ・初めての方は太い毛糸のほうが編み目が見えやすく、作りやすいです。また、仕上がりも大きくなります。ただし、太い毛糸ほど1玉分の長さが短くなるので予備があると安心です。
- ・初めての方はモヘア・ループなどではなくストレートの毛糸が編みやすいです。
- ・その毛糸に適したかぎ針の号数は毛糸に表示されています。目安としては以下の通りですがきつく編んでしまいそうな方は1つ大きい号数を選んでください。

合太	並太	極太
4/0号	5/0～7/0号	8/0～10/0号

◆3月に卒業する学生より、卒業記念品として中庭にブランコが設置されました。

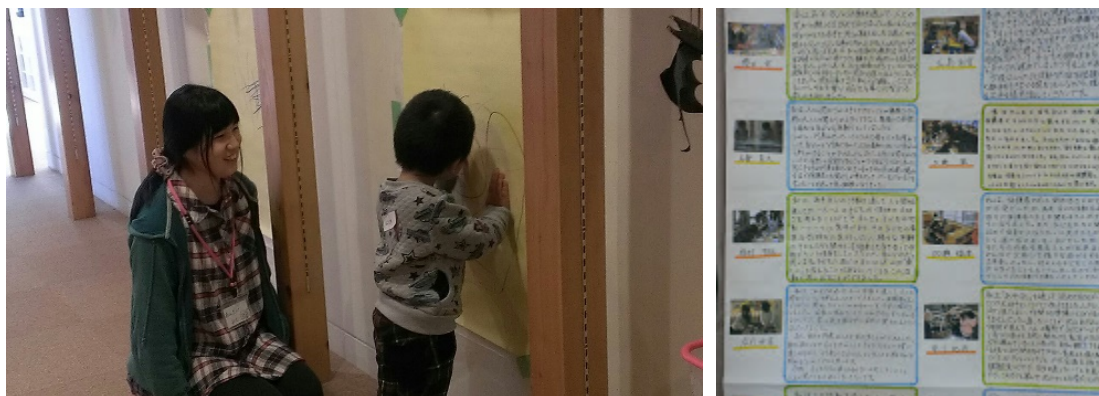
150kgまでなら乗っても大丈夫だそうなので、大人が乗っても安心！中庭に行った際にはお母さん方もぜひ、乗ってみてくださいね！また、花壇も作ってくれました。たいむでチューリップを植えました。もうすぐ春。暖かくなったらいろいろな色のチューリップが咲くのが楽しみです！



あ・そ・BUの活動を支えていただき、ありがとうございました！

10月より始まった「あ・そ・BU」は、2月17日をもちまして終了しました。ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。学生たちも、苦労はしましたが、満足感を持って終わることができました。

また、2月13日（金）に、学内で行われた「学びの成果発表会」で活動について発表をしました。ポスターにまとめてたいむの廊下にも掲示していますので、ぜひご覧ください。



◆あ・そ・BUの目的と運営の方法

千葉明德短期大学の学生が、ゼミ活動の一環として行う広場です。学生自身が企画を立て、準備し、実践することを通して、保育者や社会人となってから必要となる力を培うために行う地域の親子向けの広場です。通常のたいむのスタッフが関わらないことで、実習のような“従属的”な現場体験ではなく、自らが責任と主体性を持った現場体験とすることも目的の1つです。さらに、仲間との共同作業を通して、協調性や協同性を培うことを目的としました。

企画は、学生が本来、1・2限（9:20-12:30）の授業時間に縛られず、オープンの準備からはじまり、たいむの開室時間が終了した後も、そうじや反省会を行い、17:00までの活動となりました。過酷なスケジュールに加え、別日に準備や練習なども行いました。とにかく、ハードなスケジュールにたえ、クオリティは高くはなかったと思いますが、学生なりによく頑張りました。



◆参加学生（9名）と感想／（ ）内は役割やおおきなカブの役

渡辺育美（リーダー・お婆さん；企画・運営全てに亘って責任を持つ）：この1年の中で、あ・そ・BUが一番印象に残っています。毎回企画を練り準備することや活動を通して、人と協力するこ

との大切さを学びました。

櫻田幸（青鬼・カラス）；人との関わりが苦手でしたが、人との関わりの難しさを改めて感じました。活動を進めるうちに少しずつ関わり遊べるようになりました。

庄司玲菜（看板）；回数を重ねていく内に変に気を張らず自然にかかわれるようになっていきました。絵を描くことや物を作ることなど、得意なことを活かすことができました。

安齋美久（マゴ）；人との関わり、特に大人との関わりが苦手でした。まだ上手く関われないけれど、自分から（保護者に）声をかけることもできるようになりました。

加瀬瑞希（イヌ）；保護者と関わるができるか不安でしたが、徐々に関わるできるようになりました。子ども達と関わり改めて保育士になりたいと感じました。

中川比月（子どもと遊ぶのが好き）；改めて子どものことが大好きと気づきましたが、子どもばかりになってしまい、準備などできませんでした。小さいこと関わることにもチャレンジしたり課題を見つけたり、たくさんのことを学ぶことができました。

三浦晃（唯一の男性・お爺さん）；保護者や子どもと関わることの楽しさを感じました。他のメンバーの関わりを見て、自身を振り返ることもできました。保育士になって、保護者といろいろ話をしていきたいです。

福村有紀（ピアノ・あそBU ミニ）；子どもの行動には1つ1つ意味があり、その子どもの気持ちに気づいたり、自分がどんな保育をしたいのか気づくことができました。（*4月から幼稚園で子育て支援の担当になります）

五島彩音（ネコ）；1つのことに集中して周りが見えていないことに気づきました。周りを見ながら子どもの興味を引き出し、環境づくりができるようになりたいです。



◆あ・そ・BUの活動

回	月日	主な活動	状況	参加親子
1	10/14	焼きいも・落ち葉遊び	初回で、台風直後ということもあり1組の参加でしたが、緊張していました。	1組3名
2	10/21	ホットケーキ作り	ホットケーキを作り、チョコペンでデコレーションして食べました。	3組6名
3	10/28	ハロウィーン	かぼちゃのバックや魔女のとんがり帽子を作りました。	12組15名
3	11/11	落ち葉遊び	模造紙に落ち葉を貼って遊びました。ポ	15組38名

			ールプールも設置しました	
4	11/18	新聞紙で服作り	「ねずみくんのぼうけん」という新聞紙シアター、新聞紙で服を作りました。	12組 29名
5	11/25	ミニ運動会	午前中は、玉入れやトンネル、午後は風船リレーやようかい体操をしました。	16組 33名
5	12/9	落ち葉アート	落ち葉を台紙に貼って、ビーズやモールなどを使って落ち葉アートをしました。	15組 34名
6	12/16	クリスマス会	クッキー作り、まつぼっくり工作、学生の演奏をしました。	18組 39名
7	1/20	もちつき	もちつきと砂遊びと、穏やかな日和の中で、とてもいい時間が過ごせました。午前中はめいとクラブの子達もきました。	13組 32名
8	1/27	お正月遊び	凧あげ、紙風船、新聞紙プールと、リズム室で広々と遊びました。	14組 32名
9	2/3	まめまき	赤鬼・青鬼の登場に、子どもたちは勇敢に豆をまき、泣き叫びました。	16組 37名
10	2/17	劇「おおきなカブ」	子どもたちもあの人も参加して、楽しいおおきなカブの劇になりました。	18組 37名
*	その他	めいとクラブ	附属幼稚園の2歳児のプログラムへ参加	



学生たちにとって、この活動はとても充実感があつたようでした。彼らは4月からは、それぞれの現場（保育園・幼稚園・福祉施設等）で保育者や職員になります。この活動によって、仕事に活かせるような何かを得られたのではと期待しています。この活動を通して学生がどんな活躍を見せるのか楽しみです。来年度も実施したいです。（石井章仁）

